

就労継続支援 A 型 基本報酬に関する届出書
及び自己評価結果等の公表に係る届出書

1 事業所情報

事業所番号	4016701049									
事業所名称	スマイクリーワークステーション八幡									
事業の種別	●	就労継続支援 A 型	指定年月日	H25	年	9	月	1	日	

2 公表状況

公表の有無	●	有		無		公表年月日	R3	年	4	月	14	日
公表方法 (該当するものに●)	●	ホームページに掲載 (アドレスを記載してください)										
		URL	https://souzoukan.nrt/pdf/score-kitchen									
		その他 (具体的な方法を記載してください)										
		具体的な方法										

3 基本報酬算定区分

(Ⅰ) 労働時間	40	点
(Ⅱ) 生産活動	50	点
(Ⅲ) 多様な働き方	15	点
(Ⅳ) 支援力向上のための取組	15	点
(Ⅴ) 地域連携活動	10	点
(Ⅵ) 経営改善計画	0	点
(Ⅶ) 利用者の知識・能力向上	10	点

合計
140 点
／ 200 点

備考 ・ パソコン等の不具合等で、やむを得ず、一時的にインターネット以外の方法により公表している場合は、会報等を添付した上で、会報等の配布先、公表先を記載の上、現に公表されている箇所の写真を添付し提出してください。また、早急にインターネット上での公表が行われなかった場合、減算となる可能性があります。

・ 自己評価結果等の公表にあたっては、別添 4 2－1 から 4 2－4 までの各様式を使用してください。

・ 地域貢献活動の報告書の公表については、別添 4 2－3 の様式を使用してください。

・ 利用者の知識・能力向上に係る実施状況の報告書については別添 4 2－4 を使用してください。

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

※ 緑色のセルのみ入力してください

事業所名	スマイクリーワークステーション八幡
住 所	北九州市八幡西区真名子2丁目5-21
電話番号	093-616-0456

事業所番号	4016701049
管理者名	唐川 正利
対象年度	令和5年度

(Ⅰ) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		40
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		点

(Ⅱ) 生産活動		
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		50
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		点

(Ⅲ) 多様な働き方（※）		
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		15
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		15
就業規則等で定めている		
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		15
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		15
就業規則等で定めている	○	
小計（注1）		5 点
（※）8項目の合計点に応じた点数 （注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点		

(Ⅳ) 支援力向上（※）		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		15
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		15
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		15
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		15
小計（注2）		5 点
（※）8項目の合計点に応じた点数 （注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点		

(Ⅴ) 地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10 点
1事例以上ある場合：10点		

(Ⅵ) 経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0 点
期限内に提出していない場合：-50点		

(Ⅶ) 利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10 点
1事例以上ある場合：10点		

項目	点数	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点	
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点			
多様な働き方	0点	5点	15点						
支援力向上	0点	5点	15点						
地域連携活動	0点	10点							
経営改善計画	0点	-50点							
利用者の知識・能力向上	0点	10点							

合計	140	点	/ 200点
----	-----	---	--------

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績 I ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（ 5 年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	43,605	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	9,977	人	利用者の 1 日の平均労働時間数	4.37	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	------------------	------	----

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（ 3 年度）

生産活動収入から経費を除いた額	37,733,851	円	利用者に支払った資金総額	41,753,664	円	収支	▲ 4,019,813	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-------------	---

前々年度（ 4 年度）

生産活動収入から経費を除いた額	42,861,190	円	利用者に支払った資金総額	41,176,100	円	収支	1,685,090	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

前年度（ 5 年度）

生産活動収入から経費を除いた額	46,148,844	円	利用者に支払った資金総額	42,058,501	円	収支	4,090,343	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（ 5 年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度を定めている ☒

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている ☒

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている ☒

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている ☐

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている ☐

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている ☐

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている ☒

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている ☒

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（ 年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している ☒
◎外部研修、もしくは内部研修を 1 回以上実施している。 ☒

※研修名 就業支援基礎研修
研修講師 福岡障害者職業センター
実施日・受講者数 9月 26～28日 1人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において 1 回以上発表している ☐

※研修、学会等名
実施日 月 日
※学会誌等名
掲載日 月 日
発表テーマ

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施しているもしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている ☒

※先進的事業者名 あぎの会
実施日/参加者数 8月 4日 2人
※他の事業所名
実施日/参加者数 月 日 人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ 1 回以上参加している。 ☒

※商談会等名 nukumori マルシェ
主催者名 北九州市
日時 9月 8日
内容 jum広場の販売について

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している ☒
◎当該人事評価制度を周知している ☒

人事評価制度の制定日 H27年 6月 17日
人事評価制度の対象職員数 名
うち昇給・昇格を行った者 2名
当該人事評価制度の周知方法

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している ☐
◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している ☐

※配置期間 月 日～月 日
就業時間
職務内容

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去 3 年以内に福祉サービス第三者評価を受けている ☐

※評価を受けた日 月 日
第三者評価機関

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている ☐

※認証を受けた日 月 日
規格等の内容

(Ⅵ) 経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。 ☐

※受理日 年 月 日

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	スマイクリーワークステーション八幡	事業所番号	4016701049
住 所	北九州市八幡西区真名子2丁目5-21	管理者名	唐川 正利
電話番号	093-616-0456	対象年度	令和5年度

地域連携活動の概要	
<活動内容> 活動場所 社会福祉法人絆の会 療養介護事業所ひなた家 実施日程 R5年 10月21日(土) 実施した生産活動・施設外就労の概要 パン、ハンバーガー、綿菓子の販売(屋台) 利用者数 A型利用者	<活動の様子>
<目的> ひなた家利用者の余暇活動で年に一度のお祭り行事に出店・販売し、利用者や家族の方や地域との触れ合いの中で親睦を深める。 また、販売を通じて普段とは違う仕事のスキルを身に着ける。	
<成果> 普段関わりのない人達とのコミュニケーションの取り方を学べた。 販売の中で、商品の説明の仕方や接客時の言葉使いなど、新たなチャレンジができた良い学びの場となった。	

連携先の企業等の意見または評価			
コロナが流行し、ひなた家祭りは3年間自粛してきました。 久しぶりの開催で、利用者やご家族の方々の笑顔がもどり、徐々に元の生活を取り戻しつつあることを、職員一同実感しております。 お祭りでは販売時に仮装など工夫を凝らして出店していただき、大いに盛り上げて下さり感謝しております。 今後も様々な行事に積極的に参加いただき、互いの連携を深めていきたいと思っております。			
連携先企業名	社会福祉法人絆の会 療養介護事業所ひなた家	担当者名	中川 昇

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	スマイクリーワークステーション八幡	事業所番号	4016701049
住 所	北九州市八幡西区真名子2丁目5-21	管理者名	唐川 正利
電話番号	093-616-0456	対象年度	令和5年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容> 活動場所 一般社団法人 巨樹の会 下関リハビリテーション病院 実施日程 R5年 7月18日(火) 実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要 一般就職に向け、介護周辺業務の適正を診断 利用者数 A型利用者	<活動の様子> 
<目的> 利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい 施設外就労先の職員に就労の作業能力の評価を依頼し、一般就職に向けた準備をする。 利用者にとってのメリット 企業からの評価を参考にし、今後の就職に向けての判断材料とする。	
<成果> 実施した結果 現段階での作業能力や知識の自己の受け止め方と他者からの評価のギャップに気が付くことが出来た。 得られた成果 自分の能力にあった就職先を見つけ、就職出来た。	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

今回は一般就職希望者の評価判定ということで、病院が指定する新たな作業をしてもらい、評価の基準とさせていただきます。こちらの評価は、あくまで本人の自己評価との違いの参考となればと考えております。就職に繋がったとのことなので大変に嬉しく思います。	
連携先企業（担当者）	一般社団法人 巨樹の会 下関リハビリテーション病院 三澤 幸代

利用者からの意見・評価

今回は一般就職に向けて作業の評価をしていただき、ありがたく思ってます。自分の強味や弱点を知るいい機会になりました。無事、就職も出来たので、今回の経験を活かして頑張っていこうと思います。
